

# HB通信

編集・発行 /  
一般社団法人  
ひょうご部落解放・人権研究所



〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-25 兵庫人権会館2階  
TEL: 078-252-8280 FAX: 078-252-8281  
e-mail: blrhyg@extra.ocn.ne.jp URL: http://blrhyg.org/



所長の諏訪山だより .....

## 自民党の人権感覚が問われている

9月7日、札幌法務局は自民党の杉田水脈衆議院議員が自身のブログにアイヌ民族などに対して差別的な投稿を行ったことについて、「人権侵犯の事実があった」と認定し、人権を尊重するように杉田議員に啓発を行った。その投稿は、2016年にスイスのジュネーブで行われた国連女性差別撤廃委員会に参加した杉田議員（このときは2014年の衆議院選挙で落選し、議員ではない）が「彼らは存在だけで日本国の恥晒しです」と題して、同委員会に出席した人たちの写真を掲げ、「チマチョゴリやアイヌの民族衣装のコスプレおばさんまで登場。完全に品格に問題があります」「同じ空気を吸っているだけでも気分が悪くなる」と記したものであった。これに対して、札幌アイヌ協会会員らが札幌法務局に人権救済を申し立てたのである。

杉田議員は2017年の国連女性差別撤廃委員会で「日本軍による慰安婦の強制連行はなかった」などの発言を行い、これが当時の安倍首相に気に入られ、2017年の衆議院選挙では、比例中国ブロックの自民党単独1位に据えられた（2012年と2014年の衆議院選挙では、それぞれ日本維新の会、次世代の党から兵庫6区で立候補している）。

杉田議員は、これまでに何度も差別発言をくりかえしている。総務政務官であった2022年12月、総務相の強い指示があって、性的マイノリティは生産性がないという雑誌での記述と、上記の「コスプレおばさん」の投稿、この2点については謝罪と撤回はしたものの、差別であったと認めてはいない。それに加えて、ジャーナリストの伊藤詩織さんへのツイッター上の中傷投稿に「いいね」を押した件（東京高裁で55万円の支払いを命じられた）をはじめ、数々の差別的行為については、何ら謝罪していない。そして、今回の法務局の人権侵犯認定については、いっさい会見に応じていないのである。

杉田議員は、自民党から選挙に出た2回とも比例区であり、「自民党」と書かれた票で当選した議員だ。その議員が法務局から人権侵犯を認定されたのである。それにもかかわらず、9月26日に自民党の茂木幹事長は、次期衆院選での杉田議員の公認について記者から問われ、明言を避けている。そればかりか、29日の自民党総務会で、杉田議員は党の環境部会長代理になったという。いい加減にしてほしい。自民党には人権感覚がないのだろうか。

所長 石元清英

**(一社) ひょうご部落解放・人権研究所 2023年度人権セミナー****《第3回》障害のある女性の人権～複合差別とは？**

女性、外国人、障害者、部落出身者、性的少数者など様々な属性を理由にした差別は、以前より社会問題として認識され、それぞれ差別の解消へ向けた取り組みが行われてきました。しかし、人は複数の属性をもっています。例えば、女性であり障害者であることで、性差別と障害者差別の両方を受けることがあります。このような場合、単に複数の差別を同時に受けるということではなく、複数の差別が交差することで複雑に絡まり合い、その解決はより困難なものになります。こういった考え方は、1990年代になると「複合差別」という言葉で知られていくようになりました。現在では差別解消に取り組む上で欠くことのできない考え方となってきています。

第3回の人権セミナーでは、DPI女性障害者ネットワーク代表の藤原久美子さんを講師としてお迎えし、障害のある女性が受ける複合差別についてお話を伺います。

■講師：藤原久美子さん（DPI女性障害者ネットワーク代表）

■日時：2024年1月13日（土）14：00～16：00（13：30受付開始）

■参加資料代：一般：1000円／正会員（個人会員）：無料／定期購読（個人）・学生・賛助会員：500円

■定員：40人（会場）

■場所：①神戸市教育会館501号室

神戸市中央区中山手通4丁目10-5

②オンライン配信（定員90人）※Zoomミーティングを使用します

■参加申し込み方法：ホームページ、電話、メールなどでお申し込みいただけます。

■その他

- ・体調の優れない方は会場参加をお控えいただきますようお願いいたします。
- ・会場参加に際してはマスクの着用をお願いいたします。
- ・ご参加は、講座の趣旨に賛同する人に限ります。
- ・録画や資料の二次利用、Zoom配信のURL等の第三者への提供・拡散などは固くお断りいたします。

お申し込みは  
こちらから→

**《第4回》ウトロの歴史と現在（仮）**

■講師：金秀煥さん（ウトロ平和祈念館副館長）

■日時：2024年3月16日（土）14：00～16：00（13：30受付開始）

■場所：①兵庫県立のじぎく会館201号室（定員50人）

神戸市中央区山本通4丁目22番15号

②オンライン配信（定員90人）



## 『生きづらい明治社会 不安と競争の時代』

松沢裕著作、岩波ジュニア新書、2018年9月、968円(税込)

中村草田男が「降る雪や 明治は遠く なりにけり」と詠んだのは昭和6年すなわち1931年のこと。草田男は1901年生まれなので、三十路の男が子供の頃を懐かしむ句ということになる。明治という元号は45(1912)年7月30日までで、同日大正に改元された。現在の日本最高齢者は1907年(明治40年)年4月生まれの116歳ということだから、草田男のように懐かしむことのできる人はほぼいなくなった。

明治は本当に遠くなり、人情風俗もすっかり変わったが、現代日本を考えるうえで、重要な時期であることは当分変わらない。明治期の日本について書かれた本はたくさんある。そのなかで最近読んだ岩波ジュニア新書『生きづらい明治社会』を今回は紹介することにした。岩波新書ではなくジュニア新書を読んだのには理由がある。ジュニア向けに明治時代のことをどういうふうに説明しているのかに興味があったからだ。



私は部落史の研究者でもないのに、仕事の関係で、部落の歴史について人前で説明せねばならぬことが年に何度かある。特に近代以降、明治から大正のことを話す場合が多い。対象者は老若を問わずで、下は20歳前後、上は80代までと多様である(が、30代40代はあまりいない)。しゃべる内容は所詮付け焼刃にすぎない。ゆえにあまり自信がない。それに加えて、聴衆の近代日本に関する一般的な知識(風俗・習慣、社会システムなど)の有無も気になり、いつも迷いながら話すので、さぞ分かりにくかろう。

高齢者は前提となる知識を或る程度お持ちの方が多いと思うが、若者は一部を除きそうでもなさそうなので特に気を遣う。何をどこまで説明すべきなのか色々悩ましい。せめて「暴れん坊将軍」などの娯楽時代劇とか落語とかでいいから、そういうものでも見聞きしてきてくれたら話が早いのにと思うことがよくある。

本書は編集者と著者が何度も協議をして丁寧に作り上げていったようだ。私なら“常識”として当たり前のように使う言葉でも丁寧に説明されている。例えば「長屋」。ちゃんと「ながや」と読み仮名も振ってあって、「長屋とは、アパートのように、一つの長い建物を壁で仕切った住居で、木造平屋建てです」と説明している。ジュニア新書の編集部はこんなことでも説明する必要があると考えていることに驚いた。私は長屋については説明不要と思っていたので、認識が甘かったと反省した。

もちろん専門的なことも平易に丁寧に説明しており、ジュニアでなくても勉強になる。特に「通俗道德のわな」ということを主軸に据え、格差社会である現代を考えると役に立つように構成されている。「通俗道德」とは「人が貧困に陥るのは、その人の努力が足りないからだ、という考え方のこと」で、現代でもこういう考え方の人が多くいて、この社会を生きにくくしている。

本書は、単に昔のことを説明するのではなく、明治社会を理解することで「世の中の複雑さ、わけのわからなさに立ち向かうときに、私たちが発することのできる言葉や理屈を豊かにすることにつながる」ように、常に現代を意識した語りとなっていて、そこが本書の魅力でもある。

岩波ジュニア新書といえば中高生向けのイメージをお持ちの方もいると思うが、大人にもお勧めだ。字が大きくて老眼にも優しいので、ぜひご一読を。(ka)

## 人権啓発研究第44回兵庫県集会

■日 程：2023年10月28日（土）10:00～16:00

■参加方法：①兵庫県立のじぎく会館（定員250人） ②オンライン配信

⇒参加費：3,000円（学生・障害者1,500円）※討議資料・報告書を含む

③サテライト会場（4会場：丹波市、西脇市、たつの市、新温泉町）

⇒討議資料代：500円 ※報告書は含みません

■弁当代：1,000円（希望者） ※別途お申込が必要です。

■記念講演 ※オンライン配信あり

「もう始まっている多民族・多文化共生社会 まっとうな移民政策を  
～どうして奴隷労働と言われるのか外国人技能実習制度～」

講師：鳥井一平さん（特定非営利活動法人 移住者と連帯する全国  
ネットワーク（移住連）代表理事）



■分科会 ※オンライン配信は第1分科会のみ

第1分科会 「ネット上の部落差別の現状とモニタリングの課題」

第2分科会 「人権教育の取り組み」

第3分科会 「平和と人権」

■申込方法：FAX・WEB 詳細は研究所HP → <http://blrhyg.org/workshop/workshop.html>

■申込締切：2023年10月23日（月）

■主催：人権啓発研究第44回兵庫県集会実行委員会

■問合せ：人権啓発研究第44回兵庫県集会実行委員会事務局（ひょうご部落解放・人権研究所）

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-25 兵庫人権会館2階

電話：078-252-8280 FAX：078-252-8281 e-mail:kenkenhyogo@gmail.com

※ご参加は、集会の趣旨に賛同する人に限ります。

※会場内（ロビー含む）では、マスクの着用をお願いいたします。

当日体調の悪い方、37.5度以上の発熱のある方は、ご来場をご遠慮ください。

【お詫び】『ひょうご部落解放』186号は2023年9月末発行予定でしたが、未だ刊行できておりません。関係各位にはご迷惑をおかけします。心よりお詫び申し上げます。11月中を目途に刊行できるよう努めてまいります。（編集部）

### 事務局から

- 先日古希を迎えました。子どもや孫が祝ってくれましたが、さてさて、こころで一息ゆっくりすべきか、いやいやまだまだ頑張るべきか悩むこの頃です（Ho）
- 10月28日の県研の会場では感染対策のため、マスクの着用をお願いしています。換気対策もおこなう予定です。本人やご家族が持病のある方、高齢の方を含め、すべての人が安心して参加できる集会になるよう、何卒ご協力をお願いします（H）
- 事務局体制が整わず雑誌発行の遅れなどなど、関係各位にご迷惑をおかけしています。しかし、さらに体制貧弱化が進むことになり、お先真っ暗です。申し訳ありません（ka）
- 最近、カメムシが大量発生しているようです。カメムシが多い年は大雪になるというのは本当なのでしょうか？ 気候変動のせいで想像を超えた災害や虫による農作物への被害がおきます。新米が心配です（亀）

